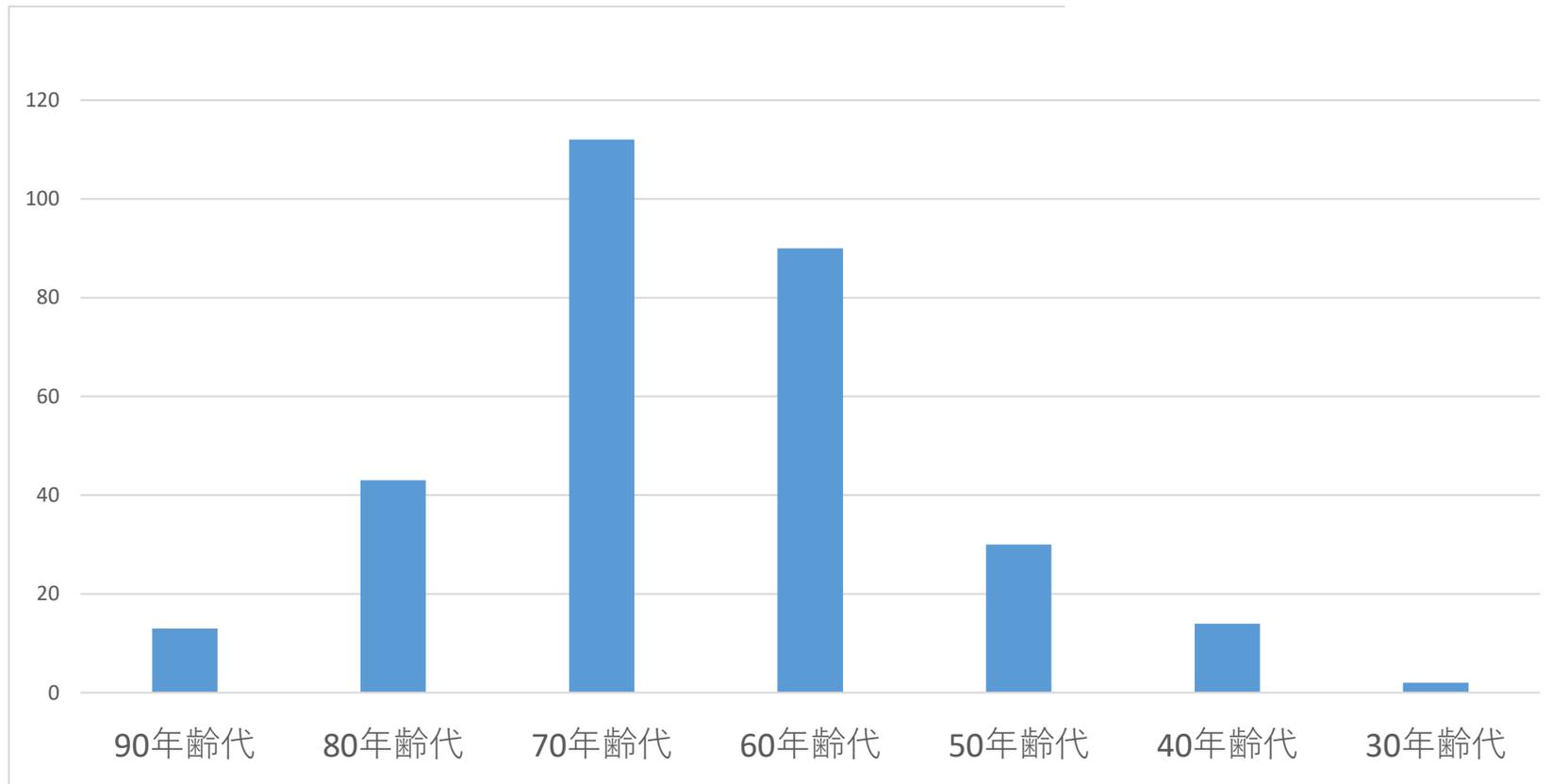


坂祝町 人・農地プラン実質化に向けたアンケート結果

令和2年11月27日回収締切分

配布枚数	559
提出枚数	307
回収率	54.9%



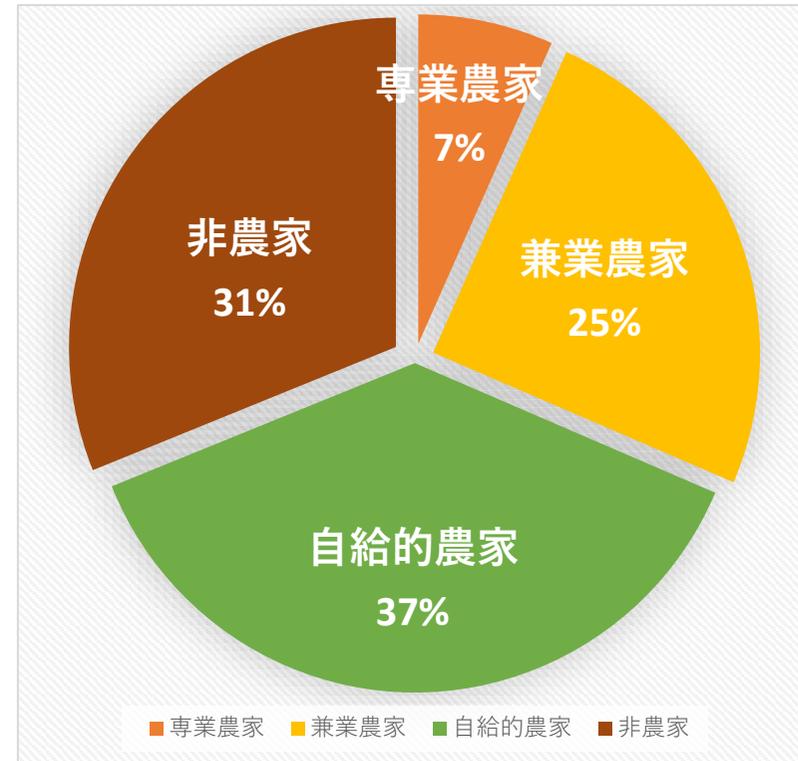
問2.ご家庭の農業形態について

回答選択肢

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 専業農家等（主な収入を農業で得ている） | 20 |
| 2. 兼業農家（主な収入を農業以外で得ている） | 74 |
| 3. 自給的農家（自家用農作物のみを栽培） | 112 |
| 4. 耕作していないが、農地を所有している | 93 |

販売目的農家全体の32%

非耕作の農地が全体の1/3



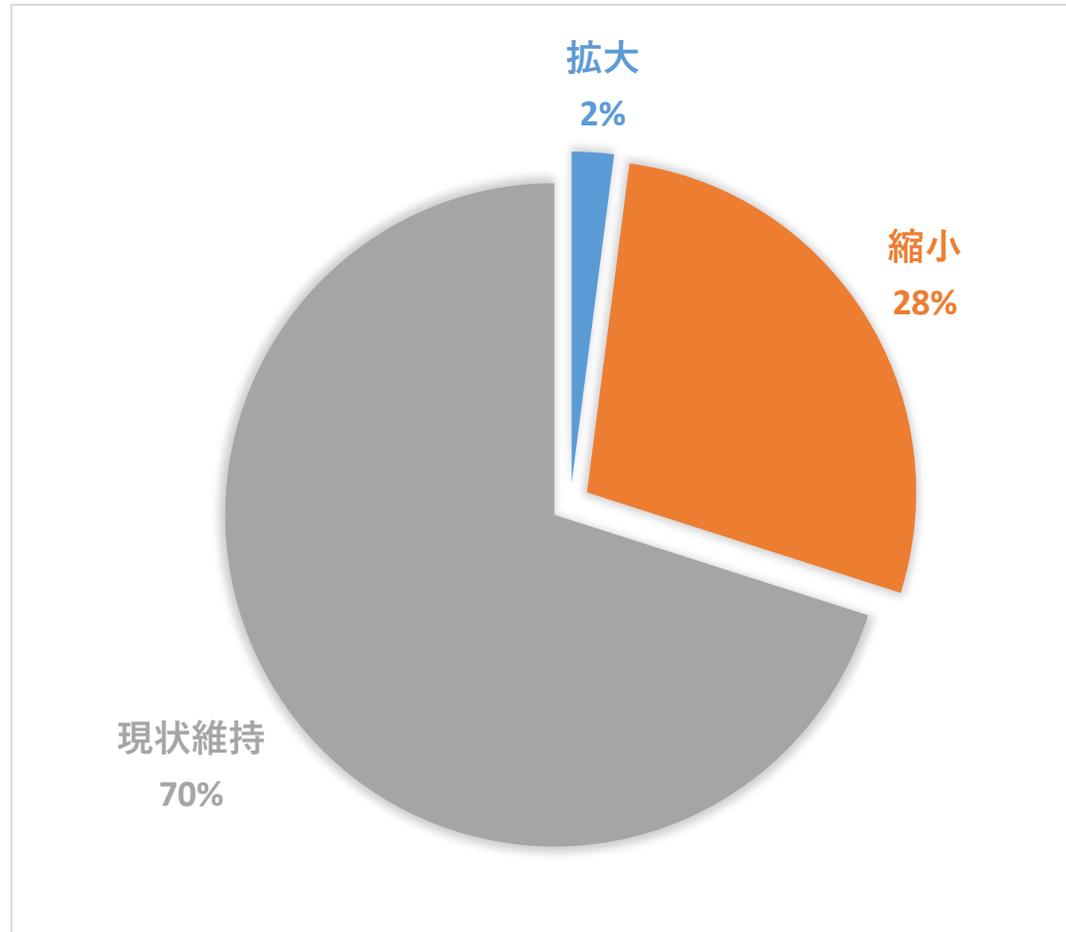
問3. 今後のあなたの農業経営及び農地について

回答選択肢

1. 拡大したい	6
2. 縮小したい	81
3. 現状のまま	204

縮小or現状維持と回答した人が98%

↑担い手不足、従事者高齢化などの影響



問4. 農業の後継者、農地の引き受け手の目途について

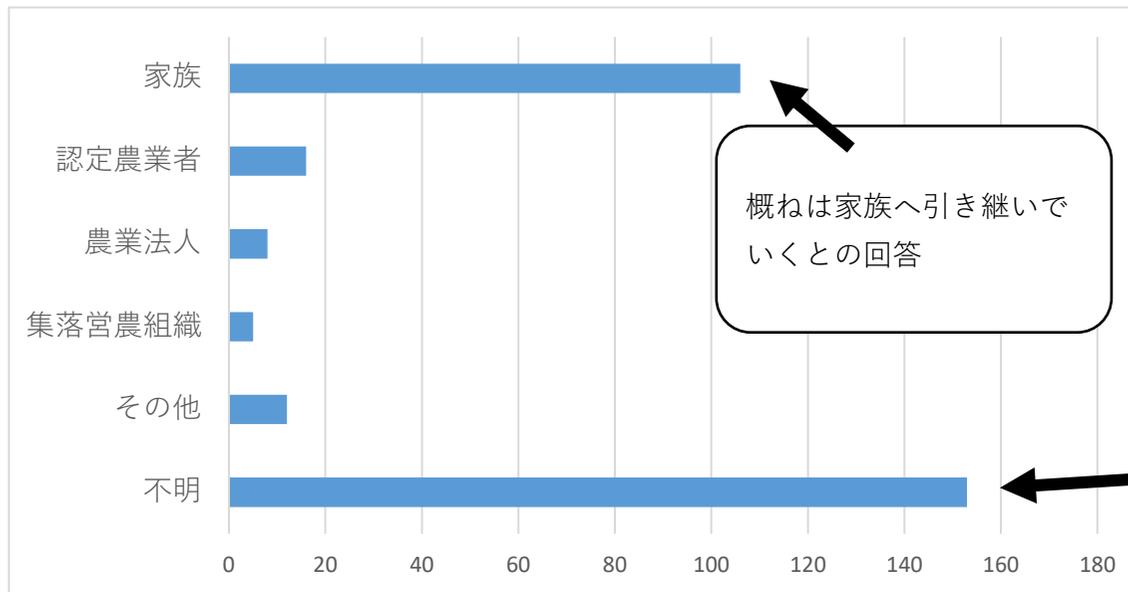
回答選択肢

1. 家族	106
2. 地域の担い手農業者（認定農業者等）	16
3. 農業法人	8
4. 集落営農組織	5
5. その他	12
6. 目途はついていない、わからない	153

①後継者問題の解決には地域での担い手が増えることが必要

②今後、耕作放棄地が増えていった場合、その土地をどう活用するかが課題

③意見を出し合う場の設立が必要

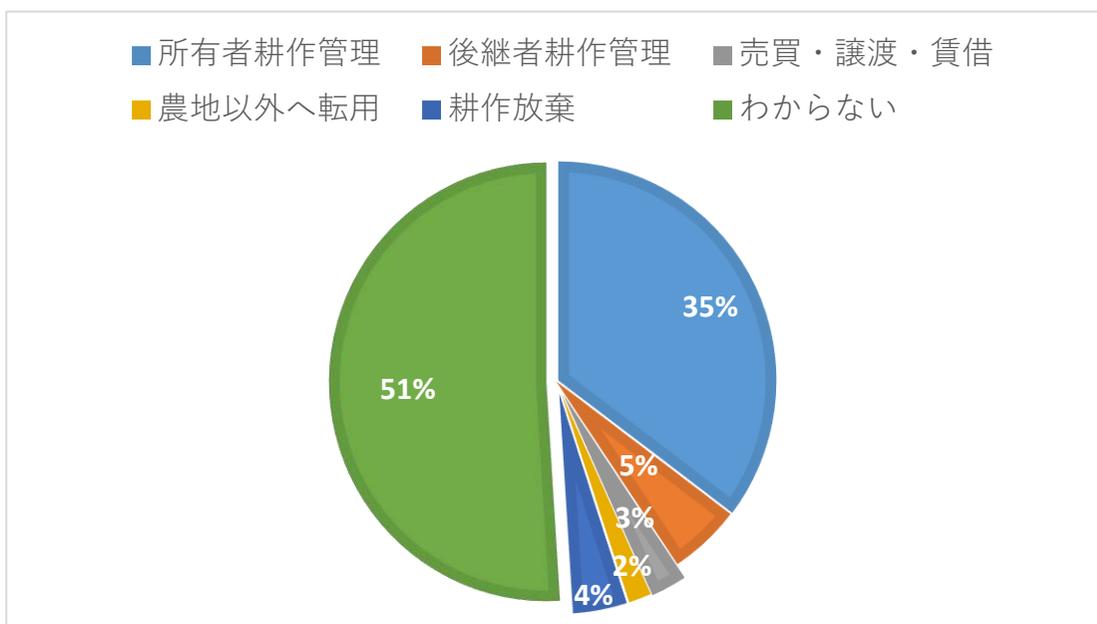


現地点で「不明」が半数を占めており、これが耕作放棄地へとなり得る

問5.所有または耕作する農地は5～10年後どうなっていると思いますか。

回答選択肢

1. 所有者（耕作者）が継続して耕作・管理	106
2. 後継者が耕作・管理	16
3. 売買・譲渡・貸借により他の方が耕作・管理	8
4. 転用し、農地以外として利用	5
5. 耕作条件が悪く、耕作放棄せざるを得ない	12
6. わからない	153



受け手が確保されており、耕作が続くと予想したのは、40%の方

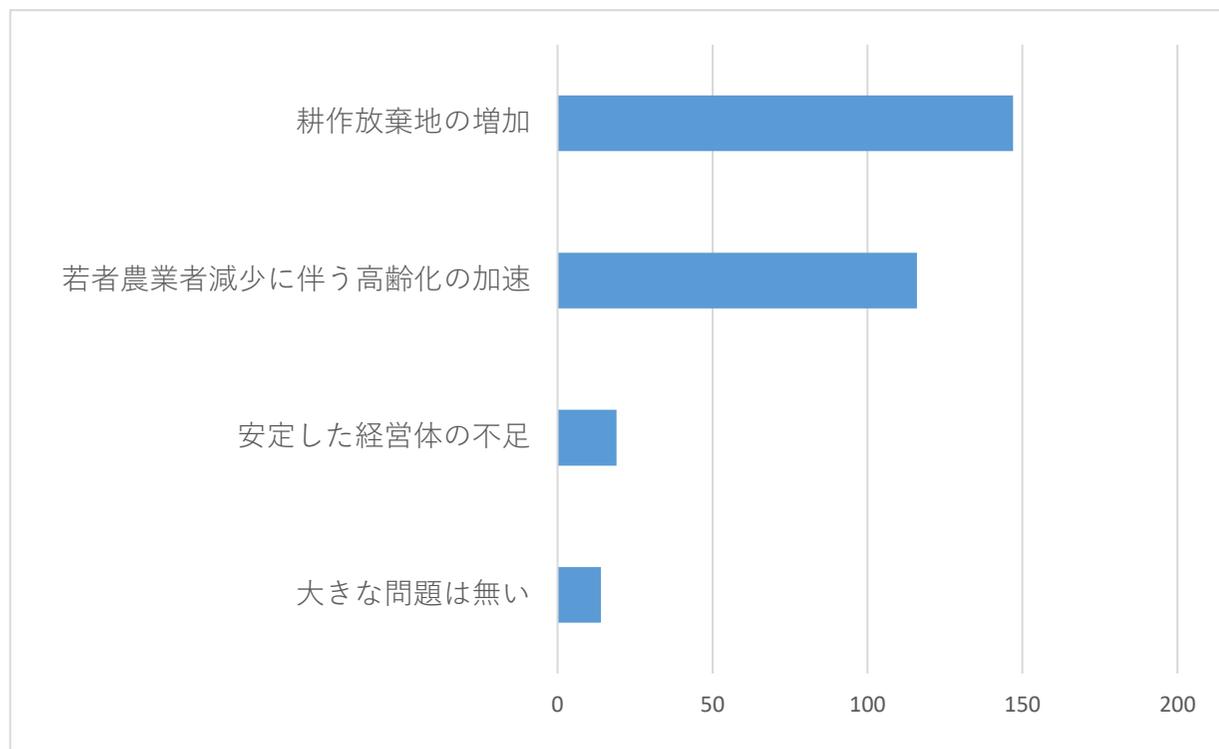
転用を考えている人は5%のみ

わからないと答えた人が半数

問6.あなたの集落・地域の農業は5～10年後どうなっていると思いますか。

回答選択肢

- | | |
|--|-----|
| 1. 問題ない状態（耕作放棄地は増加せず、各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている） | 14 |
| 2. 農地が利用されず耕作放棄地が増加する | 147 |
| 3. 地域を支える安定した経営体（個人・法人・集落営農）がいなくなる | 19 |
| 4. 若年の農業者が減少し、高齢化が一層進む | 116 |



一番大きな懸念は「耕作放棄地の増加」、次いで「農業従事者の高齢化加速」

安定した経営体の不足を解決すれば農業者の不足に歯止めがかかる

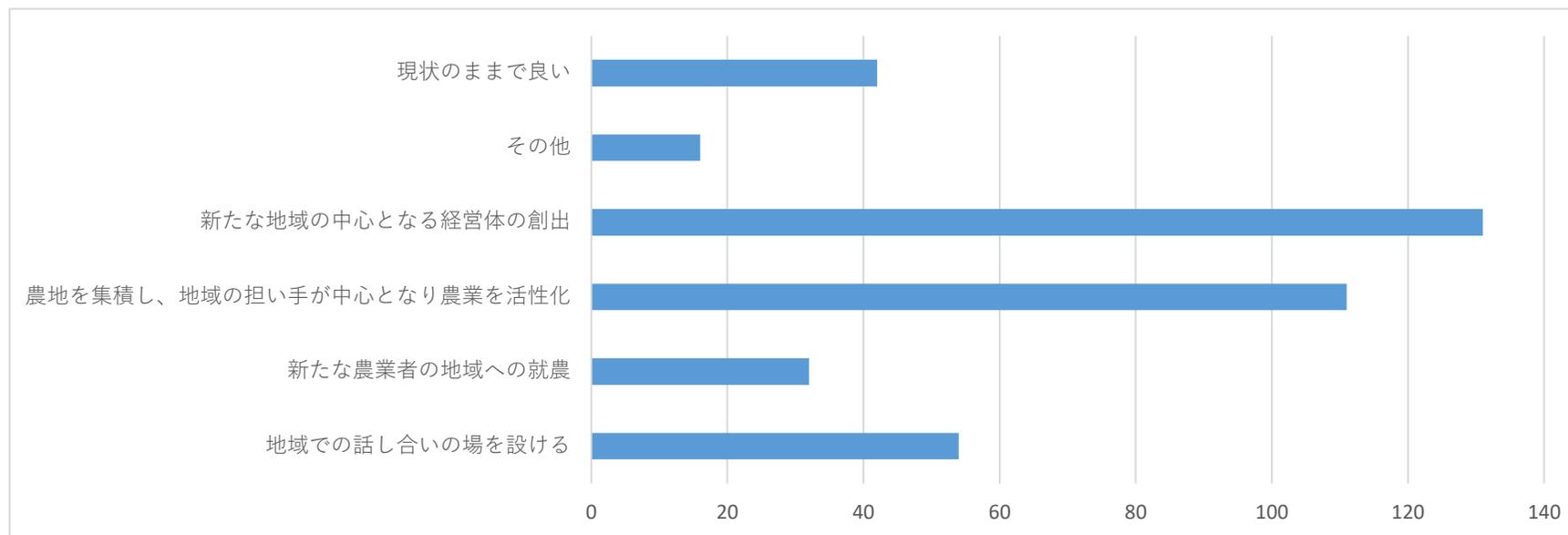
農業者の不足に歯止めがかかれば耕作放棄地の増加の速度が緩まる

課題が一連に繋がっているため、まずは、地域を支える経営体の創設・確保

問7.あなたの集落・地域の農業を持続していくために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

回答選択肢

1. 地域での話し合いの場を設ける。	54
2. 新たな地域の中心となる経営体（個人・法人・集落営農）の創出	131
3. 農地を集積して、地域の担い手（認定農業者等）が中心となり、農業を活性化する。	111
4. 新たな農業者の地域への就農	32
5. その他	16
6. 特に何もする必要はない（現状のままで良い）	42



新たな経営体の創出 ・若年層の就農が現実的に厳しいため団体や法人の介入が不可欠

農地を集積・担い手発掘 ・農地を集積しまとめることで、地域一丸となって助け合いやすい

現状のままで良い ・現場はこの意見が多いのも事実。ただし回答者が高齢のためほど現状が少なくなる傾向

自由記述

担い手関係

家族と話し合いを今後検討します。

地域で農地所有者が話し合う場が欲しい。

農業したい若者を増やす必要がある。

家族経営でなく会社化などして農産物の加工なども手掛けて安定収入組織が今後必要。

農業を事業として持続拡大するには民間企業のアイデアと資金が必要だと感じます。

長年休耕しているが草刈りなど維持するのが大変なので、貸し手があれば貸し出したい

個人、法人で農業を行っている方が少ないので5～10年後には行っている人がいないと思います。

インバウンドを含めた担い手の育成を行う必要がある。

所有農地をある程度管理させることはできないか。業者に管理してもらい費用は所有者負担を希望します。

耕作を行っていただける人は個人ではなく、会社(団体)組織で行うことを望みます。

農地関係

全農地を貸し出したい。※多数記述有

一部農地貸したい。※多数記述有

農地をすべて売却したい。※多数記述有

土地条件が厳しく、管理経営していくことが困難。早期に将来の地域農業の方向性を見出したい。

耕作条件が悪く耕作放棄地となっている農地の草刈りが大変で困っている。

小さな土地や道もないようなところにある場合はどうしたらいいのか。

車両進入できない土地改良区域外の耕地が残っていて、なんらかの対策を行っていきたい。

相続で農地をもらったが、他の地域に住んでいて面倒をみれていない現状。

農地を安くてもいいから買ってもらいたい。

今現在貸しているが、少しでも収益がでる組織があればそちらに貸したい。

農家の人に貸しているので、それが続いていけばいい。このまま貸していければと思います。

今後は農地を処分したい

小規模な土地(農地として活用が難しい)をどうしたらいいのか考えもつかない。荒地などの活用は難しい。

坂祝町は農業中心地域ではなく住宅地域で、兼業農家ばかりだと思います。農地を売りたいです。

農地を貸出しているが、農地で畔草刈りをされない方もいて、サポートできず苦慮しています。

所有農地は水源もなく、住宅の点在する農地で土地改良事業も対象とならない現状維持することで精一杯。

雑草対策で精一杯

所有している農地付近が商業化住宅地に開発が進み農業ができなくなった。

農地を貸す側も今後は農地を管理していただく意識が必要

農地を借りる方も一区画30a～50a位でないと効率が悪く経営難しいので農地の集約が必要。

地域住民でない方の耕作放棄地はどうするのですか。

雑草等が残ったままで応じていただけない場合の対応を検討していただきたい。

行政・農協等の関係

地域の実態に合った農業政策の推進をお願いしたい。

農地利用の恵まれない地域の農業への将来展望に希望が持てる政策を希望する。

町やJAなどと協議し、営農組織を作り、農地の集約経営をしてもらいたい。

若い人を育成する制度を町として作る必要がある。

営農組合のような組織、JAなどが運営、管理していくような形態があればよいと思います。

町と農業関係者が連携、協力し農地を集積し、地域の担い手を支援し農業の活性化を図る

営農指導に代わるJAによる直接経営が必要だと思います。

JAが中心となり営農団体を設立してくれると良い(定年以降のマンパワーの活用)

行政主導で担い手又は法人等を作り上げて支援・援助をするべきである。

農地保全地区の設定して設定地区の土地改良を行い、営農法人を設立してほしい

農地の売買を進める制度や組織が必要。

ビニールハウス等への補助が必要。

農地の維持については、多額の補助金が必要と思われる。

環境対策等農地に支援が必要と考えます。

農地の耕作放棄地は増々増えている。もっと国や町から補助金をつけ農地を維持させるべきである。

土地の流動的に活用するため、農振や宅地転用等、農地に対する縛りをすべて撤廃すべき。

農業振興地域をはずし、〇〇㎡以上持たないと農地が買えないという法律もなくしてほしいです。

町の考えや方向性を聞きたい。町全体をどうしたいのか。

税収増のために企業誘致を積極的に進めるべき。

アンケート調査はされるがその結果を報告されないまま処理されていることが多いので、結果を報告してほしい。

道路がなく、自分の土地に行くことができない。また、排水が悪いから農地を耕地整理してほしい

具体的なプランを早急に作成してほしいと思います。

販売方法の教示、販売先の開拓(トレッタ、道の駅、JA以外)

その他

水稲は保有米以外を出荷しているがボランティア状態。畑作は出荷野菜の基準がきびしく意欲が湧かない。

特に水田の場合は10a未満の所はもう一度土地改良を行い、30a以上の水田にして農業機械が入って効率よく作業が出来るようにしなければいけないと思う。

農業は地域的なこともあり、進めにくいと思います。基本的に農業で「儲かれば」農地は残ると思っています。

農業収入の安定を望む。重労働の割には収入が安価で魅力あれば後継者もできるはずです。

農業に誰も手を出さないであろう。

農業者が少なくなると思う。

野焼きの重要性や農業が生活環境の保全と大きくつながっていることを地域住民と共有する必要がある。

農地は環境保全の面から大切な政策だと思います。

今後の農地を管理できるか不安です。

農地を貸しているが、本当に管理してもらえているのか心配である。

国道に近いので、果樹園の防除に神経使っている。

近辺住宅地となり、果樹園として継続できるか不透明。

世界の農業と日本の農業の違いを明確にし、日本の農業の存続が危ないことを知らせるべき。

日本の農業が遅れていることを理解すべき。

今後、宅地や工場等に変わっていくのではないかと考えます。